

# 『全国看図アプローチ研究会研究誌』投稿規定

## 1. 掲載内容

全国看図アプローチ研究会研究誌（以下、研究誌）では「看図アプローチ」「看図作文」および「みる学力（ビジュアルリテラシー）の育成」に関する研究や実践報告などを掲載します。掲載論文が3編以上そろったときに1号ずつ発行していきます。

## 2. 投稿資格

研究誌に投稿できるのは全国看図アプローチ研究会会員に限ります。共著論文の共著者となりうる方も、原則として本研究会会員に限ります。

## 3. 掲載論文の種類と査読・閲読

掲載論文は、原著・実践報告・評論・研究ノート・実践ノート・展望（レビュー）の6種類です。

原著は、理論的な分析が少し多めのもの。

実践報告は、文字通り先生方の実践をまとめたもの。

評論は、様式を問わず看図アプローチ等について論じたもの。

研究ノート・実践ノートは、これからの研究や実践の発展に寄与する論考や予備的实践等を内容とするもの。

展望（レビュー）は、これまでに行われた看図アプローチに関する研究成果を集めて再検討・評価し、その概観をまとめたもの。

原稿の掲載採否の判定と掲載号の決定は編集委員会が行います。原則として、原著と実践報告には編集委員を含む2名の査読がつきます。評論・研究ノート・実践ノート・展望（レビュー）には編集委員1名の閲読がつきます。

本研究誌の基本理念は「現場に届ける」です。このため、どの論文も平易な記述を心掛けてください。論文の読者が「再現できる」「参考にして実践できる」ことを査読の最も重要な基準とします。難しすぎる統計処理などはできるだけ避けてください。「再現できる」「参考にして実践できる」ことが、当該論文が主張している内容の最大のエビデンスになると考えています。なお、閲読は文章の読みやすさを重視した添削をイメージしてください。

## 4. 文献引用の仕方について

論文中での引用および引用文献、引用文献リストの記載方法は、本研究誌 Word フォーマットを参考にされるか、投稿者が一番身近に感じている学会等機関誌の執筆要項にならってください。また、研究誌創刊号に掲載されている論文の記載方法を参考にしてください。

## 5. ビジュアルテキストの引用について

研究誌の性格上、写真や絵図等の引用が多くなると思います。著作権が自分がないビジュアルテキストを引用する場合は、著作権者の許諾を得てください。なお許諾を得た旨の注記もしてください。

## 6. 研究倫理について

研究倫理には十分な配慮を払ってください。全国看図アプローチ研究会では、日本協同教育学会の研究倫理綱領に従って研究をすすめています。したがって、本研究誌に論文を投稿する方は、必ず日本協同教育学会の研究倫理綱領を参照してください。とくに、次の条件を満たすようにしてください。「対象者あるいはその保護者もしくは所属機関の長から研究に対する同意を得て実施する。」

## 7. 執筆要項

原稿は、本会ホームページ（電子ジャーナルのページ）に載せてあるフォーマットにしたがって Word で作成してください。送付いただいた原稿をもとに編集委員が DTP を行います。図・表・絵図・写真等は論文中への挿入箇所がわかるように原稿の中に貼り込んでください。文字数制限はとくに設けませんが、あまりにも長すぎる場合は分割掲載等の相談をさせていただきます。原稿には3～5語程度の「キーワード」を記載してください。また、「原著」あるいは「実践報告」として掲載を希望する方は、論文本文の前に200～300字程度の「概要」をつけてください。ただし、評論・研究ノート・実践ノート・展望（レビュー）を希望する場合は「概要」は不要です。

## 8. 文体について

原著と実践報告は「である体」を基本にします。評論と研究ノート・実践ノート・展望（レビュー）は投稿者の好みの文体でかまいません。いずれの論文も、ひとつの文を長々と綴らないでください。メリハリやリズムのある読みやすい文章を心掛けてください。

## 9. 投稿先

事務局アドレス [kanzu-mail@kanzu-approach.com](mailto:kanzu-mail@kanzu-approach.com) まで添付ファイルで送ってください。受領したときには事務局から必ず受領メールを返信します。1週間ほど経ってもメールが届かない場合はお手数ですが事務局までお問い合わせください。なお、「迷惑メール」として受信されていないかのご確認もお願いいたします。

## 10. 掲載論文の著作権等について

掲載された論文の著作権は投稿者に帰属します。そのため論文内容に関して生じる諸問題についてはその責任も投稿者が負うこととします。

## 11. 論文執筆サポート制度について

本研究会には論文を書き慣れていない方の論文執筆をサポートする制度があります。投稿者の実践が論文として整うように編集委員会がサポートします。この制度の利用を希望される方は、論文投稿前または投稿時に編集委員会にご相談ください。

2020年1月11日 制定

2020年6月24日 改訂

2025年2月2日 改訂

2026年2月2日 改訂